

第 14 号

日本視機能看護学会会報

2018 年 1 月発行



日本視機能看護学会

Japan Academy of Ophthalmic Nursing

日本視機能看護学会 軌道に乗せて

日本視機能看護学会
理事長 大音 清香
(井上眼科病院)



新しい年を迎え、会員皆様におきましては、穏やかに健やかなお正月をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は全国各地で気象災害が発生し、被災されました方々にお見舞いを申し上げますとともに、復興への活動が前進していきますことを心より祈っております。何時、何処で、何が起きても不思議ではないこの日本で、私たちは何をすべきかと問い正していくことを、改めて年頭に考えさせられます。

さて、日本視機能看護学会では、昨年は第33回学術総会を宇都宮市で開催し、会長の原眼科病院高山友子看護部長はじめ、主管責任者の原岳院長先生、関係皆様のご尽力で大盛会となりましたことを改めて御礼申し上げます。テーマに即して様々な工夫が施され、大変興味深い内容となりました。そして今年の第34回学術総会にも、それぞれの特徴や工夫を凝らして進められています。是非多くの会員皆様のご参加を期待いたします。また第8回地方分科会は、10月28日に眼科三宅病院会議室（名古屋市）で開催し、東海地区を中心として約40名が出席されました。特別講演3題とテーマ別にグループワークを行ないましたが、各グループは大変積極的なディスカッションが繰り広げられ、有意義な会をなりました。幹事を務めていただきました眼科三宅病院理事長の三宅謙作先生、同院上村博子看護部長並びに関係皆様に厚く御礼申し上げます。

学会誌では、年度内に第2号を発刊することができました。ご協力いただきました会員皆様、また査読員の先生方には丁寧なご指導を賜りまして厚く御礼を申し上げます。現在5名の編集委員で連携を図り進めておりますが、倫理規定、個人情報保護に関する表示、文献の書き方等、編集委員会として、さらに検討すべき課題も多々あります。

視機能看護分野では、質的、量的にも研究していかなばなりません。本会において、これからも視機能看護学を実践のみならず、学術的にもより価値ある内容に高めていくための企画を、検討を重ねて実行してまいります。

2018年は戌年。困難なことも発生すると思われませんが、誠実な対応で前進してまいりたいと思っています。

皆さま、本年もどうぞよろしくお願い致します。

第33回日本視機能看護学会学術総会を終えて

第33回日本視機能看護学会学術総会 会長 高山 友子

長雨による災害が各地で報じられる中で、何とか残暑を思わせる2日間の学会開催となりました。

今回のテーマ「飛び出せ好奇心一見たい・聞きたい・学びたい」は、好奇心を持って積極的に多くのことを学んでほしいという思いを、日光東照宮の三猿にかけました。

眼科看護以外のことにも目を向けて頂くために、シンポジウムでは災害時の避難誘導、患者とのトラブルやクレーマーへの対応など、あまり勉強する機会のないテーマを企画し、実際に災害を経験された先生や、弁護士の先生による法的な対応など会場の皆様の興味を引く内容だったと思います。災害時の準備や、クレーマーへの対応を、改めて考え直す機会になったのではないのでしょうか。また、一般の方にも参加していただくために市民公開講座を開催し、約100名の方が参加してくださいました。初の学会出席に、緊張されていた方もいらしたようです。

懇親会では宇都宮名物の餃子と佐野ラーメン、日光天然かき氷を堪能していただき、餃子はアツという間に品切れになりました。また、子供達による大人顔負けのジャズ演奏と、フレアバーのショータイムには大いに楽しんでいただけたことと思います。少しでも宇都宮に良い印象を持っていただければ幸いです。

学会が無事に開催できましたのは、皆様からの多大なご協力と、協賛団体・企業各社のご協力のおかげと心より感謝しております。最後に、日本視機能看護学会のさらなるご発展と、皆様方のご健康、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



- 日 時 2017年8月26日(土)～27日(日)
- 場 所 栃木県総合文化センター(宇都宮市)
〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8
TEL 028-643-1000(代表)
- 会 長 高山 友子 (医療法人圭明会 原眼科病院 看護部長)
- 主管責任者 原 岳 (医療法人圭明会 原眼科病院 院長)
- テーマ 「飛び出せ好奇心一見たい・聞きたい・学びたい」

第 34 回日本視機能看護学会学術総会開催にあたり

第 34 回日本視機能看護学会学術総会 会長 横須賀 美紀

第 34 回日本視機能看護学会学術総会を「ひろげて看よう 一眼はこころの窓 からだの窓一」をテーマとして 2018 年 11 月 17 日（土）・18 日（日）の 2 日間、六本木アカデミーヒルズにおいて開催いたします。

現代においては視覚情報化社会が進み、質の高い視機能を保つことが重要であると考えます。また超高齢化社会、生活習慣の変化からも眼科疾患の増加が考えられる中、眼科看護に携わる私たちは一層幅広く深い知識と専門性が求められ、社会に果たす役割もますます大きくなっていくと思われま

す。特別講演は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎えるにあたり、「スポーツの可能性～パラリンピックと視覚障害者～」をテーマに為末 大氏（元陸上競技選手）にご講演いただき、教育講演は「バセドウ病と甲状腺眼症」の関連について理解を深めていただけるよう、当院院長井上吐州がお話しさせていただきます。シンポジウム1 では「色覚について」林 孝彰先生（東京慈恵医大眼科学准教授）をはじめ、カラーユニバーサルデザインの普及活動を行っている岡部正隆先生（東京慈恵医大解剖学教授）、柏井真理子先生（眼科柏井医院院長）の方々に医療機関としてのサポート等につきましてご講演いただきます。シンポジウム2 では「中途視覚障害者の心理的サポートについて」を若倉雅登先生（井上眼科病院名誉院長）、三輪まり枝先生（国立リハビリテーション病院視能訓練士長）、藤谷純子先生（国立リハビリテーション病院看護師）にそれぞれの立場から患者の心に寄り添うサポートのあり方等についてご講演いただく予定です。

六本木といえば六本木ヒルズ、東京ミッドタウンが知られていますが、特にクリスマスイルミネーションが人気です。また、六本木ヒルズ展望台の東京シティビューやスカイデッキから富士山が望めます。現代アートを楽しめる国立新美術館や森美術館、歴史ある毛利庭園や有栖川宮記念公園なども観光名所とされ、最先端と古き良き東京を感じていただけたと思います。

寒い季節の開催となりますが、参加者の皆様にとって有意義な学会となりますようスタッフ一同準備をして参ります。たくさんの方々のご参加を心からお待ちしております。

第 34 回日本視機能看護学会学術総会のお知らせ

- 日 時 2018 年 11 月 17 日（土）～18 日（日）
- 場 所 六本木アカデミーヒルズ TEL03-6406-6226（代）
〒106-6149 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 49 階
- 会 長 横須賀 美紀（医療法人社団オリンピア会 オリンピア眼科病院 看護師長）
- 主管責任者 井上 吐州（医療法人社団オリンピア会 オリンピア眼科病院 院長）
- テーマ 「ひろげて看よう 一眼はこころの窓 からだの窓一」
- ホームページ <http://convention.jtbcom.co.jp/2018jaon/>
- 事務局 医療法人社団オリンピア会オリンピア眼科病院 TEL 03-3746-8981（代）
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-18-12
- 運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザインミテイング & コンベンション事業部
TEL 03-5657-0775 FAX 03-3452-8550 E-mail 2018jaon@jtbcom.co.jp
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 13 階

第10回日本視機能看護学会地方分科会のご案内

- 日 時：2018年7月15日（日）第1部 10:00～13:20 第2部 13:30～14:30
- 場 所：ホテルレオパレス博多 福岡市博多区博多駅東 2-5-33 TEL:092-482-1212
- 共 催：日本視機能看護学会・アルコンファーマ株式会社
- 定 員：80名（先着とさせていただきます、〆切前でも定員になり次第受付終了します）

プログラム

【第1部】

10:00～10:50 : 特別講演①

「インフォームドコンセントに役立つ眼内レンズの基礎知識

（多焦点レンズ、トーリックレンズ含む）（仮）」

演者：林 研先生（林眼科病院）

10:50～11:00 : 休憩

11:00～11:50 : 特別講演②

「眼科領域における感染症対策について（仮）」

演者：三浦 美穂 先生（久留米大学病院 感染制御部副部長 感染症看護専門看護師）

11:50～12:30 : 昼食（お弁当をご用意しております）

12:30～13:20 : 特別講演③

「高齢者のインフォームドコンセントと患者指導について（仮）」

演者：秋吉 知子先生（久留米大学病院 医療連携センター 老人看護専門看護師）

【第2部】 13:30～14:30 グループワーク「高齢患者の患者指導について」

■ 事前登録締め切り：2018年7月5日（木）〆切

事前登録： 会 員： 1,000円 非 会 員： 3,000円

当日登録： 会 員： 2,000円 非 会 員： 4,000円

■ 事前登録料お振り込み先：2018年7月5日（木）〆切

口座番号：00110-4-634734（郵便振替）

口座名義：日本視機能看護学会 地方分科会

※通信欄に、会員番号・非会員・住所・施設名を必ず明記して1枚1名でお振り込み下さい。

※会費振込をもって事前登録完了とさせていただきます。

■ 担当理事：第10回地方分科会責任者 永野美香

■ ご連絡先：日本視機能看護学会 事務局（TEL/FAX：03-6908-0533）

〒161-0031 東京都新宿区西落合 4-17-20 日本視機能看護学会事務局 佐々木

Mail：shikinou@hcsquare.jp



役員紹介

(2018年1月現在)

理事長 大音 清香 井上眼科病院



副理事長 山寄 淳 熊本眼科医院



理事 兵頭 涼子 南松山病院



理事 上村 博子 眼科三宅病院



理事 永野 美香 林眼科病院



アドバイザー 大久保 和夫 (NPO 法人 HAICS 研究会 副理事長)

監査役 中澤 茂 (エー・エス・ピー・アウトソース (株))

編集後記

昨年は、学会誌第2号の発刊に向け編集委員を兼務し、論文という視点から看護の質について考えさせていただく機会ともなりました。その中での新たな課題を踏まえ、今年度も会員の皆様とともに学び視機能看護の専門性を高めていくことができるよう学術総会をはじめとし教育的、実践的な内容の講演や交流会を予定しております。視機能看護の確立には皆様のお力が必要です。そのためにも、ひとりでも多くの方が会員となって頂き、ひとりで悩まず、施設で悩まず、質の高い看護を提供できるよう皆様とのつながりを大切にしたいと考えております。視機能看護学会についての最新情報は学会のホームページ (<http://www.shikinoukango.jp/>) をご覧ください。よろしく願致します。



理事 永野 美香